

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美158-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

車の自動運転技術を学ぶ!!

市民講座第2講

台風のため、10月12日(土)開催予定だった第1講「流鏑馬と郷土の歴史」を見送った市民講座は、11月15日(金)、群馬大学「次世代モビリティ社会実装研究セ

ンター(荒牧キャンパス内)通称クランツ」を訪問し、第2講を開催。次世代の移動手段である自動車完全自動運転技術について学習しました。



迎春

謹んで新年のお喜びを申し上げます

令和二年

(清水新沼)



▲ 講師の太田直哉センター長

午後1時、笠懸公民館へ集合した24人の参加者は、バスでセンターへ移動。クランツ(CRANTS)センター長太田直哉教授からセンターの設立目的や、研究中のプロジェクトについて説明を受け、その後、施設内を見学しました。クランツは、地域を限定した自動車の完全自動運転技術や、地域の市街地を時速20km未満で自動走行する電動車「スローモビリティ」の技術開発と社会実装(注)を当面の研究目的として活動しています。さらに、これら技術の延長上には、仮想空間「メタスペース技術」の研究開発があります。本講座の参加者には、高

年齢者も多く、今後の生活環境に不安を感じるためか「自動運転技術の普及までどれ位時間がかかるの?」など、普及時期について質問が相次ぎました。が、講師は「実証実験が始まったばかり、たとえ地域を限定しての社会実装でも、人が乗るとなると課題も多く、時間はしばらくかかると」話しています。マスコミ等によれば、公道での完全自動運転が、すぐにも始まるように報道されますが、社会意識と現実の間には、かなりのギャップあると感じました。



▲ 施設見学 様々な設備の説明を受ける

(注)社会実装とは、研究成果を社会問題解決のために応用、展開すること。

親子で様々な体験!!

お母さんと一緒に教室

おいしい〜

焼き芋体験

11月6日(水)青空の下、7組の親子が公民館南の駐車場で「焼き芋」を体験しました。



▲ おいもを落ち葉の中に投入

ブロックで作った囲いの中に落ち葉を敷き詰め焼き芋の準備完了。火をつけ燃えている落ち葉の中にホイールに包んださつまいもを入れました。

焼きあがるまで、縄飛びやじゃんけん電車などをして遊びました。

焼きあがるのと部屋に戻って「いただきます」

親子でほっかほかの「おいも」をおいしそうにほおばりました。



お腹がいっぱいになった後は、根岸先生の「いもほりバス」の紙芝居を見たり、山口先生と英語のリズム遊びをしたりして思いっきり動き、子どもたちはお大喜びでした。

なかなか自宅ではできない、たき火での「焼き芋」良い体験ですね。

安全のプレゼント

交通安全教室

11月15日(金)は、講師に女性警察官を招き「交通安全教室」を音楽室で行いまし



▲ 道路を渡るときは 手をあげて右・左・右

た。

腹話術人形「あつちゃん」をかかえて講師が「命」の大切さを話しました。また、パンダの「リリーちゃん」も登場して、パトカーの仕事や信号機の見方、横断歩道のわたり方などを実際に親子で体験しました。

外に出て本物のパトカーに乗ったり、写真を撮ったり、見たことのない道具に

子どもたちは大はしゃぎでした。

講師は「わかる言葉と態度で毎日繰り返し教えることが、子どもの未来を守るための『安全のプレゼント』とお母さん達に向けて語りかけ、教室は終了しました。長い時間でしたが、子どもたちはよく聞いていましたよ。

みんなで作る

公民館利用者懇談会

令和元年度笠懸公民館利用者懇談会が11月26日(火)、『公民館について語ろう〜みんなの公民館をみんなで考える〜』をテーマに開催されました。

現在の笠懸公民館利用団体は173団体で、懇談会の参加は26団体43人と非常に少ない人数ではありますが、普段活動で利用している部屋ごと(6グループ)に分かれ、たくさん意見が出ました。

・利用者懇談会の時間帯を昼間にしてほしい。
・交流ホールにモップが欲

しい。

- ・意見箱の設置
- ・公民館の道具(用具)がなくなる。
- ・文化祭の寄付金を公民館へしてはどうか。
- ・職員と利用者との距離が遠い。
- ・料理実習室の掃除がされていないことがある。
- ・あいさつ運動の成果が出ている。

等々です。

この結果を受け、より良い公民館になっていくことをみんな目指してほしいですね。



▲ パトカーの前で ハイポーズ

いくつになっても勉強!

高齢者大学 第4講/第5講

生きがいを持つ

第4講

高齢者大学第4講「高齢者の健康管理」が、10月9日(水)笠懸公民館交流ホールで開催され、約140人が受講しました。

講師は、高崎鉄道健診センター所長の室田欣宏先生です。

先生は、肺炎やロコモティブ(運動機能障害)症候



▲ 講師の室田欣宏先生

群、腰痛など高齢者に多い疾患について講義しました。誤嚥性肺炎の予防には、大きい口を開けて「パ・タ・カ・ラ」の4文字を発声する。口や舌の動きを鍛えられ誤嚥予防になる。

ロコモティブ症候群は栄養不足と運動不足が原因で起こり、転倒し骨折する、寝たきりになり死に至る。そうならないために、肉や魚など好き嫌いなく多くの食品を摂り、痩せすぎない、70歳までに筋力を蓄えることが大事と。

また、スクワットやかかと落としなどで、ふくらはぎや太ももを鍛えることを勧めました。

腰痛についても症状別の体操を説明しました。

盛りだくさんの内容で「身体を動かして死ぬまで働く人のために尽くすことを生きがいに」との言葉が印象に残りました。

ハツ場ダム視察

第5講

11月1日(金)、高齢者大学第5講は「ハツ場ダム」視察研修を実施し、雲一つ無い秋晴れの下、102人が参加しました。

9時に公民館をバス2台で出発し、浅間酒造観光センターで昼食をとった後、ハツ場ダムに到着。現地ガイドの案内でダムについての説明を受けながら見学をしました。

本来であれば、水が入る前の状態を見学する予定でしたが、台風19号による大雨の影響でほぼ満水状態でした。ちよっぴり残念な気持ちもありましたが、参加者はダムの大きさと完成間近の今しか見れない景色を眺めながら、秋の一日を楽しんでいました。



▲ 1班集体写真



▲ 2班集体写真

令和元年度みどり市公民館大会

多世代交流と地域づくりを考えてみませんか

日時 令和2年3月7日(土)午後1時30分開会

会場：多世代交流館(旧福岡西小学校)

内容：①事例発表 郷土を美しくする会
とまり木

②講演 講師 東京大学大学院教育学研究科
教授 牧野篤氏

参加費：無料



オカリナのやさしい音色♪ 「こいの広場」



▲ やさしい音楽が会場をつつむ

CDでのイントロクイズもあり、その音楽に合わせて飛び入りでフラダンスを踊る方もいて楽しいひとときでした。

オカリナの心地よい音色の余韻がいつまでも残っているようでした。

現在、会員募集中とのことです。気軽に見学してみよう。

第122回「こいの広場」オカリナロビーコンサートが、11月10日(日)笠懸公民館1階ロビーで開催されました。

天気もよく、たくさんの方で会場は埋め尽くされていました。

今回の出演者は、笠懸公民館で活動している「みどり土笛の会」のみなさんです。

すてきなドレスを身にまとった6人が「負けないで」「秋桜」「コーヒールンバ」などを優しい音色で披露しました。

続いて「もみじ」や「瀬戸の花嫁」では、オカリナの曲に合わせてみんなで一緒に歌いました。



笠懸公民館 主催 みどり市市民講座 受講生募集中!

講座	第5講
日時	3月1日(日)午後2時～4時
会場	笠懸公民館 交流ホール
内容	音楽を通しての人生の貯蓄
講師	(株)エンドリズム代表取締役 金子勇人

問合せ・申込先 笠懸公民館 0277-76-2211

《お知らせ》

第124回「こいの広場」

「ロビーコンサート」

日時 2月8日(土) 午後2時～
会場 笠懸公民館 1階ロビー
出演 みどり市民吹奏楽団

みどり市
マスコット
キャラクター



みどモス

企画広報部員大募集!!

そのアイデア! 活かしませんか?

■笠懸地域文化祭とは?

令和2年度の文化祭は、10/17(土)、18(日)の2日間を予定しています。展示部門、イベント部門、ステージ部門があり、笠懸公民館と笠懸野文化ホールを会場に開催します。

■企画広報部の仕事はどんなことをするの?

～当日までの流れ～

- ・みんなで一緒に文化祭全体の企画!
- ・企画広報部で実施するイベントの内容を検討。(令和元年度はMAY'Sコンサートやダンスライブ、大道芸(サーカス)等を実施)
- ・文化祭の周知のためポスターを配布

～前日から当日の流れ～

- ・みんなで企画した独自イベントの設営
- ・スタッフとして会場全体を盛り上げます
- 企画広報部の方からは…「自分が企画から実施まで携われて本当に楽しい!」など、充実感にあふれた感想もいただいています!

ひとつでも
当てはまる
方はぜひ!

- 仲間づくりをしたい
- 地域のことを知りたい
- イベント事や楽しい事が好き

あなたが
主役です

楽しいアイデアを実現し、一緒に文化祭を創ってみませんか? ご応募お待ちしております!
(第1回企画広報部会を3月上旬に開催予定です)

●申込期限

令和2年2月9日(日)

●申込方法

FAX・メールの場合、件名は『企画部員申込』とし、住所・氏名電話番号を記入のうえ笠懸公民館までお願いします。
電話・窓口でも申込みできます。

●問い合わせ・申込み先

笠懸公民館

電話: 76-2211

FAX: 76-2836

メールアドレス

kouminkan@city.midori.gunma.jp

ギャラリーを彩る作品展

緑のカーテン コンテスト

第10回緑のカーテンコンテスト作品の写真展が11月1日(金)から6日(水)までふるさとギャラリーで開催されました。

個人・団体・公共施設の3部門で計30作品が展示され、最優秀・優秀・佳作の各賞が贈られました。

どの作品を見ても、植物による緑のカーテンと建物为一体となっていて、涼しさが伝わってきました。来年も環境問題、エコの観点からいい作品を作ってください。

岩宿文化研究 奨励賞

岩宿文化研究奨励賞学生部門賞作品展が10月29日(火)から11月6日(水)までふるさとギャラリーで開催されました。

市内の小中学生を中心に岩宿時代のくらし、生活、衣食住など、調べたことを何ページにもまとめたノート、粘土で作られたマンモス、イラストなどを入れて



▲岩宿時代について
まとめあげた作品がズラリ

わかりやすくつくられた表など様々な作品が展示されました。どの作品も、研究の成果がとてよく表現されていました。

小中学校図工・ 美術及び理科 自由研究作品展

みどり市小中学校図工・美術及び理科自由研究作品展が、11月22日(金)から26日(火)まで、ふるさとギャラリー及び1・2階のロビーで開催されました。

市内の小中学生が授業で制作した作品として、1階にポスター、工作など、また、2階では理科の自由研究結果がそれぞれ展示され



▲涼しさが伝わってくる緑のカーテン

いただきたいですね。

非行防止標語 コンクール

11月13日(水)から20日(水)まで笠懸公民館ふるさとギャラリーで「非行防止標語コンクール作品展」が行われました。

非行防止を皆で考え、少しでも非行をなくそうと、みどり市内の小中学生から標語を募集しました。

SNSの普及で顔を見なくても会話ができってしまうので、言葉で思いを伝えることが難しくなっています。入選したみんなの思いの

ました。

展示期間中は、子どもの作品を見に家族で来場する人の姿が多く見られ、我が子の作品を笑顔で見ている親の姿や、「上手だね〜」と子どもの作品に感心している人などとてもにぎわっていました。

たくさんの方の来場者が、子どもたちの一生懸命作った



▲並べられた小中学生の
多くの作品

作品を一つ一つじっくり鑑賞していました。



▲非行はダメ！
思いが込められた多くの作品

こもった標語は、11月16日(土)に笠懸公民館で開催された、青少年健全育成大会で表彰されました。最優秀賞「ちがうよ」と言える友達 真の友 あずま小6年 足立千莉さん スマホより 家族の顔見て 晩ごはん 笠懸南中1年 小林花さん

地域からのたより

芸術の秋

四区

笠懸町第四区は、10月5日(土)から6日(日)の2日間、四区公民館を会場に第5回文化祭を開催しました。

日頃取り組んでいる趣味や活動の成果を発表し、区民の文化交流を深めることを目的としています。

会場には写真、書、土器など72作品が展示され、来場者たちで作品についての話が弾んでいました。また、地域の再発見とし



▲ 区民の力作を鑑賞

交流を深める

六区

笠懸町第六区は、10月20日(日)区民広場にて、恒例となっている区民レクリエーション大会を開催し、秋晴れの下、約500人の区民が参加しました。

開会式では、市長、教育長をはじめたくさんの来賓の祝辞がありました。

参加者は、障害物競走、玉入れなど子どもから大人まで、また親子で参加でき

る様々な競技に出場し心地よい汗を流しました。

六区レク大会では、ゴール後に参加賞のお菓子をもらえることや、パン食い競争のパンがおいしいことがとても区民には好評です。

今泉地区公民館長は「たくさんの方の協力のものと、大きな事故やけがも無く無事に大会が終了することができました。本当にありがとうございました。今後もこの恒例行事を維持継続するためには、区をはじめ各種団体関係者ならびに



▲ 三輪車によるデットヒート

隣組長の協力が不可欠です。一致団結して地域活性化に貢献して参りたいと思っております」と話しました。

みんなでゲーム

七区

笠懸町第七区は、10月27日(日)「青少年健全育成区民会議・区民レクリエーション大会」を七区公民館で開催し、約70人の区民が参加しました。

昨年までは、親子でペットボトルを使って水口ケツト作りをしていましたが、今年から区民が気軽に参加できるゲーム形式に変更し

ました。

参加者を4つのグループに分け、輪投げ、羽根つこ、ビンゴボード、射的の4つのゲームを順次行い、点数をつけていきます。

小さな子ども(幼児)は親と一緒に遊んでビンゴボードや射的を楽しんでいました。また、小学生はどのゲームも真剣で、うまくいった時の歓声や失敗した時のため息が会場に響き、シルバー世代は年齢を感じないくらい元気に取り組んで

いました。

ゲームが終わると、ランチタイムです。おにぎりのほか、婦人会が豚汁、地区公民館長などが焼肉をそれぞれ調理し、参加者全員で食べました。

食事後の成績発表では、幼児、小学生(低・高学年)一般、シルバーの5部門別で上位3位までが賞品を受け取りました。

最後に小池区長は「天気も良くとても楽しい1日となりました。今年から形を

変えたがこれからも続けていきたい」とあいさつしました。

区民同士の交流があちこちで見られ、参加者は楽しい1日を過ごしていました。



▲ 狙いを定めて

こえの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

お邪魔しま〜す♪

サークル 紹介 ②7



今回お邪魔したのは、今年発足した鼻笛サークル「鼻笛隊ピッピ」です。

鼻笛と聞いて想像がつかなかったのですが、楽器は

投稿

今月の一首(7) 風鈴

新しき年の初めの初春の今日降る雪のいや重け吉事
(20・四五二六 大伴家持)

《訳》元日で立春の今日、この雪が降り積もるように、いよいよ重なれ。よきことよ。《解説》天平宝暦二(七五九)年正月一日、因幡国(鳥

取県東部)の国守だった家持が、新年の公宴で詠んだ歌。新年の雪は豊年の兆し、

プラスチック製で手のひらにすっぽり、細長い穴が一つ。これでどうやって音を出すの!?
実際に「赤いスイートピー」を演奏してもらうと、あら不思議。楽譜がないので知っている曲を演奏するとのこと。
会員募集中!!

この雪のように吉きことよ重なれと一年を予祝します。コトは「言」であり「事」。言葉に表すと言葉の力でその事が実現すると強く期待されています。

この年は、当時の曆、儀鳳曆の一月一日と、二十四節気の「立春」が重なる「歳旦立春」の年、それは十九年に一度のめでたいことでした。

この歌は万葉集全二十巻の最後の歌。ちなみに約百年後の『古今和歌集』は、十二月の立春を迎えてしま

ぜひ見学してふしぎを確かめてください!

代表：斎藤尚子さん

連絡先：090-8890-6686

活動日：第1・3火曜日

19時から

会費

：なし



▲ 鼻笛を全員で練習

う(年内立春)歌、「年のうちに 春は来にけり ひととせを 去年とや言はむ 今年とや言はむ」で始まります。なお、万葉集の書名の由来は、「万」を「よろずの、たくさんの」という意と解し、「葉」を「八世紀中葉」のように「時代」の意と解して、永遠に伝わることを祈念して名付けられたと、現在では考えられています。

『万葉集一日一首』

花井しおり編

(致知出版社刊)より

四季の会 十一月句会



出荷もれの冬野菜もらふアルバイト

注文の仕立邪魔せし冬の猫

買物の荷物持たさる冬日和

ゆつくりと冬支度せし日曜日

冬紅葉寺の山門小さく見ゆ

アルバムの君の写真や冬紅葉

つはぶきの香りの三門山の寺

重要な会議の席に冬の蠅

日溜りの盆栽手入れ冬の蜂

おでん種はんぺんを入れ夕厨

菊芋の収穫忙し老夫婦

たかの爪金牛蒔に二三本

鮫鱈の吊し切りせし那珂湊

見端悪し柚子を刻みてジャムを煮る

具沢山のすいとん炊きし句座納

高齢の姉の行く末冬の院

一徹で過ぐる生涯みぞれ降る

きぬかつぎ合間に食べるコンサート

からくりの竿糸切れし恵比須講

リズムよくくるくる剥きし吊し柿

ゆつくりと庭先とびかふ冬の蜂

注文の糸を紡ぎし暮の秋

冬満月やジム通ひの道照らしをり

絡線やしやんしゃんしゃんと恵比須講

今年米かほりと共に供へをり

風呂吹の味噌あじ旨し夕餉かな

しゃかしやかとコーヒー豆を冬の朝

大根炊く父の好みの味噌甘め

冬句会つひでにコーヒー配達す

宴会の三本締や震ふる

生徒らの歌聞く冬のユーチューブ

冬夕焼湖を焦がせし鳥の群れ

木の実落つ研修旅行多胡の古碑

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|------|
| 佐藤 小春 | 東宮 春水 | 川岸 星漢 | 津久井 友禅 | 越塚 勝鬼 | 多田 冬薔薇 | 小林 華笑 | 韓 百日紅 | 吉田 和義 | 楳沢 春蘭 | 富田 和 | 村田 紅蘭 | 遠藤 勝龍 | 新羅 光海 | 金井 漢江 | 村田 小町 | 真下 山月 | 冠 二郎 | 童 鳥海 | 金井 光順 | 久保 初風 | 山本 草秋 | 今井 稔 | 糸井 初音 | 徳田 夕子 | 須田 仙寿 | 小此木 和音 | 横倉 雅 | 糸井 梅光 | 石原 青蓮 | 富士山 鬼翔 | 宇野 勘大 | 金 光月 |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|------|

投稿

テクテクお城歩き(9)

「二本松城」 歩遊人

二本松城は福島県にある日本100名城のひとつ。白旗ヶ峰(標高345m)に畠山満泰が1441〜44年に築城した山城で、城主は畠山氏のあと蒲生氏、加藤氏、そして丹羽光重が入封すると城下町の整備に取り掛かったといえます。戊辰戦争では奥羽越列藩同盟に加わり、新政府軍に攻められて落城、建物は焼



▲ 二本松少年隊の像と箕輪門

1982(昭和57)年、一階櫓、箕輪門、多門櫓が復元され、1995(平成7)には山頂の本丸直下の石垣が復元されました。本丸へは箕輪門を潜り高みを目指すこと約20分。展望は抜群で安達太良山の左おやかな稜線は高村光太郎の「智慧字抄」を思い起こさせてくれます。

笠懸短歌サークル十一月例会より

湯ほてりを冷ます夜風に足を止め昨日満月今日おぼろ月
ポイ捨てのペットボトル海に入り分解までに400年も
ブロッコリー日増しに伸びて収穫に追はるる日々なり農の生業
「水が出た」道がごうごう川となりしキティ台風小五の記憶
毒だみの下でずーっと耐え忍び可憐な花のオキザリス咲く
街の灯か残る茜か黒雲の底へにかすか明るみのさす
わが疲れ弱き個所なる歯に出でて奥の歯ぐきの朝より痛し

上村 征子
上山 利夫
橋内 文夫
久保田茂子
近藤ふさ子
関口 定夫
平山 勇

コラム豆電球



「サニーレタスのサニー」

グリーンサラダなどに使うサニーレタス。これは日本だけの名前で、アメリカではフタシントン・アーリーレッドと呼ばれている。ではなぜ日本名がサニーレタスになったかというところ、意外だが、乗用車の日産サニーからきている。

東で、それが欧州に渡り、アメリカに伝わったものだった。この新しいレタスは売れると踏んだ青果市場の青年は、出荷準備が整ったところで、名前を考えました。料亭専門家に相談したが、アイデアは出たものの、もうひとつピンとこない。そんなとき、彼の目の前を真っ赤な車が通り過ぎた。それが日産サニーだったのだ。サニーには太陽の輝きの意味があり、そのときの車もこれから売り出すとすの野菜もどちらも赤い色をしている。そんなことで、サニーレタスでいいこうということになったのだ。

ちよつと一息



人間にとつて「日常」とは何かということを考えてみました。

私は、日常の基底になつてゐるものは仕事でも学問でもお役目でもなく、それぞれの人が一定の条件のもとで快適に生きていくことだと思つてゐます。

仕事、学問、お役目はその基底の上に乗つてゐるもので基底ではないということ。それは言つても仕事は収入を得る場であり、人が生きてゐる実感を得るものだと思います。

いろんな人の生きる力が集まつてゐるのが職場であり、会社であり、社会なのです。

心豊かに暮らすためにも新たに人と出会うための社会教育施設をおおいに利用し見聞を深めることは大変有意義なことだと思います。(上)